

令和7年度 府中市立府中第九小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・学習した漢字を正しく習得したり、活用したりできない児童が多い。【発見】 ・自分の考えや思いを読み手に伝わるように表現することを苦手としている子が多い。【表現】	・覚えるポイントの確認、定期的な小テスト、再テストの実施を通して、漢字の定着を図る。【発見】 ・普段から習った漢字をすすんで使うような言葉かけを行い、活用する力を養う。【表現】 ・文章の書き方の例をいくつか児童に示し、文章を書くことへの抵抗感を減らす。【表現】 ・書いた文章を友達と共有したり、読み返したりする活動を取り入れ、読み手に伝わる文章を書くとする、相手意識を高める。【表現】		
算数	・文章を読んで、問題の場面を理解することが苦手な児童が多い。【発見】 ・数値を正しく認識し、順序よく正確に計算する力、根気強く最後までやり抜く気力が不足している。【決定】	・考えるための手立てである式、言葉、図、表などを活用して自分の考えをもてるようにさせる。【発見】【表現】 ・毎時間、授業開始時に3分計算を実施し、正しく四則計算を行う力を養う。【発見】【決定】		
理科	・実験への根拠のある予想や考察等を自分の言葉でまとめることが難しい。【表現】 ・理科の学習に対して興味をもって取り組んでいるが、さらに主体的に取り組み、思考を深めていこうという児童が少ない。【決定】	・根拠をもって書けている記述を価値付けたり、よく書けている児童のノートの内容を共有したり、ノートへコメントを通して助言したりし、自分の言葉で表現できるよう促す。【表現】 ・文章の型を提示し、思考を整理しながら自分のことばでまとめることができるようにする。【表現】 ・児童が主体的に活動できるよう目的意識や課題意識をもち、意図的に自然の事物・事象に働き掛けられるような活動を充実させる。【発見】		
社会	・自分の考えを表現したり、学習したことを自分の言葉でまとめたりして、学習したことを活用できる児童が少ない。【表現】 ・資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりすることが難しい。【発見】【決定】	・ICT等を活用して資料の提示の仕方や活用の仕方を工夫し、何を読み取ればいいのか明確にする。ペア活動やグループワークを取り入れ、考え方を広げたり、深めたりする機会を増やす。【発見】【対話】 ・学習のまとめに、ポスターや新聞、タブレットPCのスライドを作る活動を行い、自分の考えや、疑問、さらに知りたいことなどを表現させることで、学習したことを活かす場を設ける。【発見】【決定】		
音楽	・器楽や歌唱の学習において、必要な音符の長さの理解や、リズム打ちが定着しづらい児童がいる。【発見】	・音符カードやリズムカードを使い、音符の長さについて理解を深めたり、友だちと拍にのり、リズム打ちをしたりして楽しみながら理解ができるようにつとめる。【対話】【表現】		
図画工作	・絵の具の扱いなど既習事項を活かして工夫することが弱い。	・前学年までの材料や用具についての経験や技能を生かして表すなど、既習事項を生かした指導を繰り返す。【表現】【発見】		
体育	・ボール運動や水泳等、最初から取り組もうとしない児童がいる。【決定】	・「やりたい」「楽しい」という気持ちになるように、スモールステップで少しずつ、できるようになったことを教員が認め、児童に意識させながら進める。【発見】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。